

社会科学学習指導案

授業者

指導教諭

1.日時 平成29年10月6日(金)第3時限(10:45~11:30)

2.学年・組 第5学年3組(35名)

3.大単元名 第3単元「工業生産を支える人々」

中単元名 (1)自動車づくりにはげむ人々

4.中単元の目標

- 自動車工業を身近なものとして捉え、生産の工程などにおける人々の工夫や、これからの自動車づくりについて関心を持つ。
- 消費者のニーズに合わせて、効率のよい自動車生産が行われている理由を、それに携わる人々や、関連工場との協力、ロボットなどによる生産の工夫などに関連付けて考えることができる。
- 写真や映像、図などの資料から気づいたことを、自分なりの言葉で表現し、まとめることができる。
- 自動車生産における課題や、自動車生産に携わる人々の工夫や努力について理解する。

5.評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	自動車づくりの工程や、それに携わる人々の工夫などについて関心を持ち、これからの自動車づくりについて意欲的に考えようとする。
社会的な 思考・判断・表現	自動車づくりに関わる人々のさまざまな工夫や努力、それらの意味や関連などについて、写真や映像などの資料をもとに考え、これからの自動車づくりについて、消費者と生産者の両面から適切に判断し、表現している。
観察・資料活用の技能	自動車づくりの様子や、工場の所在地、輸送の様子などについて、写真や映像、図など、さまざまな資料から情報を読み取り、まとめている。
社会的事象についての 知識・理解	自動車づくりにおける工夫や努力に気づき、消費者の要望に合わせて自動車がつくられ、関連工場との結びつき、さまざまな輸送の方法や地球環境に配慮した自動車づくりが行われていることを理解している。

6.指導にあたって

(1) 児童観

本学級の児童はとても明るく素直で、休み時間には友達と元気いっぱい遊んでいる。また、困っている児童に声をかけて助け合ったり、配布物などを自らすすんで配るなど、学級に対して協力的な姿勢の児童が多い。

学習においては、どの教科においても意欲的に取り組み、積極的に発言する児童がいる一方で、興味がないことやわからないことに対して消極的になり、学習の意欲を欠いてしまう児童もいる。ワークシートを用いて興味を持たせて児童の学習に対する意欲を引き出し、グループワークの実施など、友達と協力して学ぶことのできる授業を大切に、本学級の児童の良さを活かしたい。

(2) 教材観

自動車は、子どもたちにとって身近な工業製品である。我が国は、工業生産が盛んで、なかでも自動車は、生産量、生産額、輸出額も大きく、我が国を代表する工業製品である。

自動車は、消費者のニーズに合わせて多種多様な車種が生産されている。また、それらを効率よく生産、輸送するために、様々な工夫や努力をしている。さらに、近年、人にやさしく、環境に配慮した車づくりも具体化され、福祉車両やエコカーなども実際に利用されるようになってきた。

このように、子どもたちにとって身近な自動車生産についてとりあげること、我が国の工業生産に興味を持たせ、さらにその特色を理解することに適した教材であると考えます。

(3) 指導観

本単元では日本の自動車工業を取り上げ、身近なものとの関連を、具体例をあげるなどして考えながら、自動車工業に関心もたせる。そこに従事する人々の環境への配慮などの工夫や、輸送などの働きによって支えられ、生産されていることを学習し、日本の工業生産が生活の向上や産業の発展などに果たしている役割を学ぶ。

本学級の児童は、自分の興味がないこと、わからないことを学習する際、消極的になってしまうことがしばしばある。そこで、ペアワークやグループワークを実施し、実際の工場と同じ工程を体験させ、児童が主体的に活動することによって、日本の自動車工業と、自分の生活との関連を考えながら、学習への意欲を向上させたい。

7.単元計画 (全7時間)

時間	学習内容	指導上の留意点	評価の観点
1	<p>ニーズに合わせた自動車作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車のメーカーや車種について知る。 ・多種多様な自動車が作られている理由を考える。 ・自分がどんな自動車に乗りたいかを考え、ニーズに合わせた自動車づくりについて考える。 	<p>児童の知っている自動車のメーカーを出させることで、興味、関心を抱かせ、自動車の多様性に気づくことができるようにする。プリントを用いて、消費者、生産者の両方の立場からニーズについて考えることで、その難しさ、大切さについて気づくことができるようにする。</p>	<p>多種多様な自動車について学び、自分の乗りたい自動車について考えるなどの活動を通して、自動車や、自動車づくりにういて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。【関】</p> <p>友達のニーズに合わせた自動車を工夫して考え、表現している。【思】</p>
2	<p>自動車工場と関連工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車に使われている部品の数を知る。 ・関連工場が自動車づくりを支えていることを理解する。 	<p>自動車工場と関連工場の関係を、資料をもとにして考え、それを学級で共有することで、理解を深めるようにする。</p>	<p>自動車づくりが多くの関連工場に支えられていること、また関連工場での様々な工夫について理解している。【知】</p>
3	<p>自動車の部品づくりの流れと工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シートが関連工場から自動車工場へとどこまでの工程を知る。 ・効率の良い生産のための工夫について考える。 ・ジャスト・イン・タイム方式について理解する。 	<p>シート工場の様子を映像で提示し、関連工場の復習とともに、実際にどのような工程でシートが製造されているか気づくことができるようにする。</p>	<p>関連工場では、効率のよい生産、出荷のために、ジャスト・イン・タイム方式などの工夫がされていることを理解している。【知】</p>
4	<p>自動車づくりの流れと工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車がつくられる工程を知る。 ・早く、正確に、安全に製 	<p>実際の写真を提示することで、自動車づくりがどのような流れで行われ、どのような工夫がされているかわかりやすくする。</p>	<p>自動車を組み立てる方法を、実際の写真から具体的に読み取っている。【技】</p>

	造する方法について考える。		自動車づくりが、ラインや人とロボットによる作業の分担などの工夫によって効率よく進められていることを理解している。 【知】
5	<p>工場働く人と環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場働く人ための工夫を、安全面と快適な空間の二つの観点から考える。 ・地域の環境を保つために工場が行っている工夫を知る。 	教科書の資料から、工場実際に工夫されている労働者と環境への配慮について読み取らせ、出し合わせることで、理解を深めやすくする。	自動車工場で工夫されている労働者や環境への配慮を教科書から読み取り、その意義について考えている。 【思】
6	<p>自動車の輸送方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車の値段に含まれる費用について考える。 ・自動車の輸送手段を知る。 ・それぞれの手段のメリット、デメリットについて考える。 	自動車の輸送手段におけるメリット、デメリットについての表を提示し、工場からの距離によって、どの輸送手段が良いかを考えやすくする。	<p>輸送手段ごとのメリットやデメリットを様々な視点から考えている。 【思】</p> <p>示された地域への輸送手段を学んだことをもとに適切に選択している。 【技】</p>
7 本時	<p>最新の自動車とこれからの自動車づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の自動車の種類について知り、理解する。 ・これからの自動車づくりに求められることを考える。 	交通事故の件数や、エコカーの知識などを示し、最新の自動車がどのように役立っているのか、またどのような課題があるのかを考えやすくする。	最新の自動車について理解し、これからの自動車づくりに求められることを意欲的に考えている。【関】

8. 本時の目標

最新の自動車について学び、課題解決のためのこれからの自動車について工夫して考える。

9. 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価の観点
<p>○前時で学習した輸送手段について振り返る。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<p>○どのような手段があったか、使い分けの理由なども踏まえて振り返らせる。</p>	
<p>これからの自動車づくりに求められることを考えよう。</p>		
<p>○最新の自動車について学ぶ。</p> <p>○安全と環境に配慮した未来の自動車を考える。</p> <p>○考えた自動車を班で発表する。</p> <p>○各班一人ずつ発表する。</p> <p>○本時のまとめと感想を書く。</p>	<p>○一年間の交通事故件数を提示し、その数の推移から、安全性の高い自動車の開発を想起させる。</p> <p>○ハイブリッド車や電気自動車などのエコカーが、それぞれどういった点で環境に良いのかを具体的に理解させたい。</p> <p>○安全と環境の二つの観点到に絞ることで、考えるべき自動車を明確にする。</p> <p>○各班一人を、実現できそうな自動車かどうかで決定させ、絵がうまいなどの理由で選ばせないようにする。</p>	<p>最新の自動車について理解し、これからの自動車づくりに求められることを考えている。</p> <p>【関】 →発言・ノート</p>